

# 厚生労働大臣表彰授与

耕和会 本部

平成 30 年度救急医療功労者 厚生労働大臣表彰



理事長

当院・理事長、迫田耕一郎先生が「救急医療功労者 厚生労働大臣表彰」を授与されました。

（長年にわたり、地域の救急医療の確保、救急医療対策の推進など、救急医療体制の推進に貢献した個人や医療機関を対象に、各都道府県知事からの推薦に基づき厚生労働大臣が表彰するものです。）

当院は開院当初より現在まで、24 時間 365 日の救急医療体制を確保し、地域の救急医療を担う一員として、1 次救急・2 次救急に従事してまいりました。創立 30 周年の一つの節目を迎え、また個人としてこのような名誉ある賞を頂戴し、身の引き締まる思いでございます。

これからも、地域のみなさま、利用者のみなさまに必要とされる医療に尽力してまいります。



～理事長より御礼～

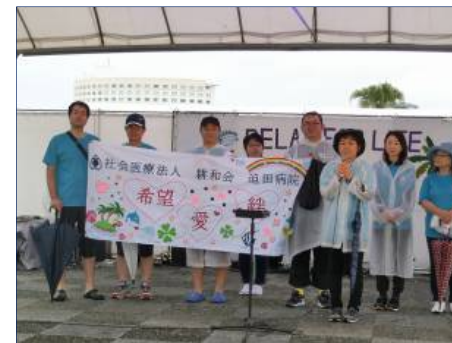
職員の皆さま、夜間当直をされる先生方に、心より感謝申し上げます。

# シリーズ：地域交流イベント参加報告 その②

事務課 金丸 智之

職員が参加してきたボランティアやイベントの情報です！！

<9月>宮崎市青島で開催された「リレー・フォー・ライフ・ジャパン宮崎」



リレー・フォー・ライフとは、がんサバイバー（がん患者・がん経験者）ケアギバー（患者家族・遺族支援者）をたたえ、地域、社会全体でがん征圧を目指すチャリティーイベントです。今回の参加チームは48チーム、発足当初から毎回参加しているチームや私たちみたいに初めて参加するチームや、参加者たちの動機や背景も様々でした。中には日頃から、サバイバーやケアギバーなどの支援活動に参加されている方々もいました。

また、開催に当たり、高校生・中学生多くの方々がボランティアとして参加し運営の支援をされていました。参加にあたり各チームのオリジナルフラッグの準備が必要でした。私たちも、参加者メンバーでアイデアを出しあい、仕事の合間を見つけながらまた、院内保育園の先生方、子供たちの協力をいただいて、とても素敵なフラッグが出来上がりフラックの中の文字は（愛・絆・希望）私たちの思いです。開会式後、各チームフラッグを持ってハイタッチしながらスタート！全員でトラック（約300m程度）1周しウォークが始まりました。

9月8日（1日目）にリレーウォークが始まると、雨が降りだし、カッパを着て傘差し足元はずぶ濡れになりました。でも、リレーウォーク中は参加者同士で楽しみながら、声を掛け合い気持ちよく歩いている自分たちがいました！ ステージイベントでは、啓発イベントやトーク、音楽などを聞きながら歩き、時にはステージ前の観客席に座って聞き入っていました。がん体験者の気持ちや、がん家族の体験話などがあり、職員の中には、数か月前に最愛なる母を亡くした方もおり、とても共感できる話でシーンと心にしみわたる物があり涙ぐむ場面もありました。

夜になると、メッセージが書かれたルミナリエの一つ一つに明かりが灯り、幻想的で厳かな雰囲気です。夜になると、メッセージを読み、サバイバーやケアギバーなどのそれぞれの願いや思いが込められていて、どれも感動するメッセージでした。夜になると、天気が悪くなり、大雨洪水注意報が発表されたため、急遽1日目のウォークは20時で終了となりました。9月9日（2日目）は朝の6時半に再度、会場となる青島のこどものくにに集まり、テント内では、7時からの開始時刻を皆でおしゃべりしながら待っていると雷雨のため、2日目の日程が急遽中止となりました。参加者で雷を気にしながらテントなどを片づけ解散となりました今年の結果は80周で終了となりました。

100周の目標達成とはいきませんでした。参加者全員で、来年も是非参加しようという約束を交わし、とても思い出に残るイベントでした。

